

平成 27 年度事業報告書

当センターは、地場産業振興の拠点施設としての役割・機能を果たすため、国・県および関係市町村、並びに関係諸団体との連携に努め、以下の事業を実施した。

本年度は、北陸新幹線の平成 27 年 3 月 14 日開業により、交通の利便性も向上し、交流人口が増加するなか、「伝統的工芸品月間国民会議全国大会富山大会」が高岡市をメイン会場として開催された。当センターではこれを大きな機会と捉え、県内外の多くの方々に工芸品を身近に使うて頂き、工芸品の魅力を体験して頂くための新規事業「富山県伝統的工芸品フェア」を実施した。

また、首都圏等で実施される県・市のイベントに参加し、地場製品の紹介・普及に努めるとともに、旅行エージェント等に対する誘客活動を積極的に実施した。交流人口の増加を見据え、当センターが企画組織した「越中おもてなし工芸品展開実行委員会」においては、昨年に引き続き県内の伝統工芸産地と連携を図り、消費者ニーズを反映した商品開発を行い、新たな需要開拓に取り組んだ。同委員会において開発された商品は、「第 81 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2016」に同時出展し、業界と連携した販路開拓に努めた。

産学官連携事業では、高岡駅の瑞龍寺口コインロッカーを漆で加飾し、当駅を利用される多くの方々に高岡地域の伝統的工芸品の PR に努めるなど、地場産業にかかる情報提供・収集事業の一層の充実を図り、より効率的な事業運営にも努めた。

27 年度のバスの立ち寄り台数は 115 台で、昨年（92 台）より 25.0%増加した。来館者数は、73,040 人で、昨年（75,520 人）より 3.3%減少した。

また、高岡市内の小・中学校の児童、生徒の「ものづくり・デザイン科」の実習及び見学に訪れた人数は 1,775 人で、昨年（2,779 人）より 36.1%減少した。一方、一般の方による体験学習の参加人数は 742 人となり、昨年（343 人）より大幅に増加した。

なお、資金の収支状況については次のとおりとなった。

事業活動収支については、事業収入では参加料等収入が 3,240 千円で、(対前年 1,336 千円増)で 70.2%の大幅増加となった。主な要因としては、昨年 12 月から今年 3 月にかけてのものづくり体験を企画に取り入れた関東・関西からの観光ツアー客が定期的に訪れたためであった。

施設使用料収入は 17,077 千円（対前年△1,474 千円）で 7.9%の減少となった。

施設使用料収入のうちの貸室収入については 5,618 千円となり、昨年（7,008 千円）より 19.8%減少した。稼働率（施設毎に、1 日 1 回以上の利用を 1 と数え、開館日数（340 日）で除した率）は、29.1%となり、昨年（34.0%）より 4.9%減少した。

販売事業収入については、展示販売場売上では 28,438 千円（対前年 1,139 千円、4.2%増）となり、仕入額が 20,791 千円（対前年 929 千円、4.7%増）であったことから、販売手数料は 7,647 千円（対前年 210 千円）で 2.8%の増加となった。また、昨年 4 月 25 日にオープンした御車山会館ギャラリーショップの販売手数料は 1,047 千円、昨年 8 月で営業を終了した

D.front の販売手数料は 118 千円であった。また、新高岡駅観光交流センターGALLERY MONONO-FU の販売手数料は 1,615 千円となった。

平成 27 年度における事業活動収入計は 124,689 千円、事業活動支出計が 107,920 千円で収支差額は 16,769 千円となった。

また、投資活動収支においては、投資活動収入計は 1,678 千円となり、投資活動支出計は 8,850 千円で収支差額は△7,172 千円となった。投資活動収入の内容は建物等修繕に備えた積立金の取崩し及び D.front の閉店に伴う敷金の返還収入であった。投資活動支出の主なものは、計画中の 4 階トイレ改修工事、高層棟乗用エレベーターの改修工事、大ホール舞台下両開き戸改修工事、貸会議室等のカーテン取替工事などの固定資産取得支出であり、また、将来の支払いに備えた退職給付資産の積立、計画中の 5 階トイレ改修工事のための積立などの特定資産取得支出であった。

さらに、財務活動収支においては、財務活動支出計が 7,165 千円で収支差額は△7,165 千円となった。財務活動支出の内容は長期借入金の返済であった。

以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額は 2,431 千円となり、前期繰越収支差額 7,563 千円を加えた次期繰越収支差額は 9,994 千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1) 高岡地域地場産業センター設置管理事業

施設改修及び清掃や修繕により、利用しやすい施設運営を図った。

(2) 施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行うものについて、施設の貸出を行い、期間・利用料について施設利用規程に基づき優遇措置を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1) 販路開拓事業

伝統工芸品産業支援事業を活用し、首都圏においての展示会「第 81 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2016」へ出展し、新しい顧客の開拓を目指し積極的に高岡地域の伝統的工芸品の PR に努めた。併せて、当センターが企画組織した「越中おもてなし工芸品展開実行委員会」を継続支援し連携することで、地場産業の振興と育成を図り、伝統的技術および商品の普及・PR の強化に努め、同委員会において開発された工芸品についても同時出展し、需要開拓に努めた。

「第 81 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2016」

- ・日 時 平成 28 年 2 月 3 日(水)～5 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 21 番地 1 号)
- ・出 展 数 20 社、256 点
- ・来場者数 全体で 194,764 人(会期中のお問い合わせ件数 : 164 件)

(2) 地場産業品普及事業

①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、高岡地域の地場産品の P R を行った。

ア「じばさんフェア 2015「全国うまいもの市」への出展

- ・日時 平成 27 年 11 月 7 日、8 日
- ・場所 山口県防府市 (公財)山口・防府地場産振興センター

イ「和歌山地場産フェア」への出展

- ・日時 平成 27 年 11 月 21 日、22 日
- ・場所 和歌山県和歌山市 (公財)和歌山地域地場産振興センター

②観光関連事業への参加協力

ア「北陸新幹線開業記念展「富山でお花見」への出展

- ・日時 平成 27 年 3 月 13 日～4 月 29 日
- ・場所 富山県富山市 富山県中央植物園

イ「第 64 回金沢百万石まつり 加賀百万石「盆正月」への出展

- ・日時 平成 27 年 6 月 6 日、7 日
- ・場所 石川県金沢市 金沢城公園

ウ「高岡と射水の観光物産ウイーク」への出展

- ・日時 平成 27 年 6 月 22 日～26 日
- ・場所 愛知県名古屋市 富山県名古屋事務所

エ「立山駅」への出展

- ・日時 平成 27 年 8 月 12 日、13 日
- ・場所 富山県中新川郡 立山駅

オ「第 90 回謙信公祭」への出展

- ・日時 平成 27 年 8 月 22 日、23 日
- ・場所 新潟県上越市 春日山神社

カ「中部自治会連絡協議会交歓会」への出展

- ・日時 平成 27 年 10 月 8 日
- ・場所 富山県高岡市 ホテルニューオータニ高岡

キ「長野県上田市「アリオ上田」」への出展

- ・日時 平成 28 年 2 月 24 日、25 日
- ・場所 長野県上田市 「アリオ上田」太陽のコート

③高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

本館展示場において、伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。季節ごとの企画展示などを充実させ、より興味を深めてもらう方法を工夫しながら、来館者の増加に努めた。

④「D. front」の運営

御旅屋通りにおいて、伝統的工芸品を中心とした地場産品の企画展示を行い、地域内外の方々への情報提供に努めた。(8月閉店)

N ⑤「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを開設し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

N ⑥「伝統的工芸品月間国民会議全国大会富山大会」記念事業の実施

伝統的工芸品月間国民会議全国大会富山大会の期間中、大和高岡店と連携し、県内外の多くの方々へ当地域の工芸品の魅力を発信するため、「富山県伝統的工芸品フェア」事業を実施し、伝統工芸品・地場産業の振興に努めるとともに、中心市街地との人の還流を図った。

(3)来館者誘致事業

県内外の旅行エージェント等に対して地場産品や当センターの情報提供に努め、来館者の誘致に努めた。本年度は、新たに新高岡駅に開設した新高岡駅観光交流センターのGALLERY MONONO-FUに当センターのポスターを掲示するなど、誘客に努めた。

(4)地場産業情報提供事業

①HP 等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページの改修を行い、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるような内容に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペースを利用した情報提供

1階ロビーを活用し、伝統工芸高岡漆器協同組合の「高岡漆器展示会」(7/31～8/10)や、越中おもてなし工芸品展開実行委員会「求評会」(8/21～30)、伝統工芸高岡銅器振興協同組合の「後継者育成事業作品展示会」(9/8～18)の開催、2階大ホールでは、富山県伝統工芸士展(8/7～9)の開催などにより情報提供を行った。

③県内地場産品の情報提供を目途とした産業資料館の充実

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

3 人材育成事業

(1) 青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援した。また、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援を行った。

①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。

平成27年6月4日を初回に、年間21日間にわたって延べ19校(33クラス、989名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学5年生18校(30クラス、938名)、小学6年生1校(1クラス、4名)
錫の鋳込みを実習

イ 漆器の体験

中学1年生1校(2クラス、47名)
螺鈿貼りを実習

ウ 産業資料館の見学

小学5年生12校(23クラス、571名)、小学6年生4校(5クラス、141名)

中学1年生2校(4クラス、74名)

②教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日(6時間)の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数15名。漆器体験講座受講者数21名。

- ・漆器体験講座 平成27年7月29日(水)、8月3日(月) 午前9時～12時
- ・鋳物体験講座 平成27年7月29日(水)、8月3日(月) 午後1時半～4時半

(2)工芸技術体験普及事業

広く一般市民に対し、工芸技術を体験できる機会を提供した。

- ・鋳物体験(ミニ水盤、ぐいのみの製作体験) 32団体659人の参加
- ・漆器体験(ペンダント、ミニパネルなどの加飾体験) 3団体83人の参加

(3)産学官連携事業

引き続き漆圃場において漆木の育成を行った。また、高岡駅のコインロッカーを漆で加飾し、高岡駅を利用される多くの方々に対し高岡地域の伝統的工芸品のPRに努めた。

①漆木育成

- ・日 程 平成27年4月23日(木) 雪囲い外し、肥料
平成27年5月24日(日) 草刈り、江浚い
平成27年7月5日(日) 草刈り
平成27年9月13日(日) 草刈り
平成27年11月22日(日) 雪囲い
- ・場 所 第1、第2、第3 漆木実験圃場(高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近)

②高岡駅コインロッカー漆加飾事業

- ・連携団体 高岡市
株式会社 高岡ステーションビル
富山大学 芸術文化学部
伝統工芸高岡漆器協同組合
公益財団法人高岡地域地場産業センター
- ・配置場所 高岡駅 瑞龍寺口付近 コインロッカー(高岡市下関町6-1)
- ・開催 平成27年10月 ・現場視察 [場所:クルン高岡]
11月 ・会議(モチーフ、テーマについての検討について)
・会議(パネルデザイン案の発表、検討)

- 12月 ・会議（パネル図案決定、制作方法の検討）
 ・会議（全体構成の最終確認）
- 平成 28 年 1月 ・会議（全体構成の最終確認）
 ・会議（パネルの色確認、図案調整）
 ・制作開始
- 3月 ・制作完了
 ・ロッカーへの施工
 ・お披露目会（3月27日）

4 地場産業支援事業

(1) 商品開発支援事業

①商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開を通じた情報提供を行ったほか、ニーズの把握に努め業界へのフィードバックを行った。

②POS 管理によるマーケティング支援

展示場での販売実績による POS データを活用し、消費者ニーズの分析を行い業界へと還元した。今年度は POS データを取組む独自の販売集計システムの導入により各施設における販売実績を迅速に処理し、産地組合等への情報提供に努めた。

(2) 産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して支援を行った。

イ富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する工芸士展の開催等に対して支援した。

第 19 回富山県伝統工芸士展（伝統的工芸ふるさと体験・交流事業併催）

- ・日 時 平成 27 年 8 月 7 日(金)～9 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2 階大ホール
- ・主 催 富山県伝統工芸士会

ウ富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・日 時 平成 27 年 8 月 2 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2 階鋳物工房
- ・内 容 「錫製バングル」の製作

(イ) 漆器に親しむつどい

- ・日 時 平成 27 年 8 月 1 日(土)、2 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター
- ・内 容 青貝塗り加飾の体験 (小箱)

(ウ) 井波彫刻の体験教室

- ・日 時 平成 27 年 8 月 22 日(土)、23 日(日)
- ・場 所 木彫りの里
- ・内 容 キーホルダー、飾り皿、お雛様

(エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・日 時 平成 27 年 11 月 13 日(金)
- ・場 所 砺波市立砺波南部小学校
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

(オ) 越中和紙の体験教室

- ・日 時 平成 27 年 7 月 30 日(木)、11 月 6 日(金)、17 日(火)、18 日(水)、
20 日(金)、平成 28 年 1 月 27 日(水)
- ・場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

②その他団体に対する支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

第 21 回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 27 年 8 月 29 日(土)、30 日(日)
- ・場 所 東京都台東区 2K540 AKI-OKAARTISAN
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

イ 高岡巧美会

ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を

行った。

- ・日 時 平成 27 年 8 月 21 日(金)～9 月 2 日(水)
- ・場 所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主 催 高岡巧美会 (高岡市伝統工芸産業技術保持者)、高岡市

ウ 工芸都市高岡 2015 クラフトコンペティション実行委員会

工芸都市高岡 2015 クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・日 時 高岡展 平成 27 年 10 月 1 日(木)～5 日(月)
東京展 平成 27 年 8 月 19 日(水)～9 月 13 日(日)
- ・場 所 高岡 大和高岡店／東京 松屋銀座
- ・主 催 工芸都市高岡 2014 クラフトコンペティション実行委員会

エ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業に対し支援を行った。

(ア) 「高岡漆器展示会」の開催

- ・日 時 平成 27 年 8 月 1 日(土)～10 日(月)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター1 階ロビー

(イ) 「第 50 回全国漆品展」への出展

- ・日 時 平成 27 年 10 月 16 日(金)～28 日(水)
- ・場 所 青山スクエア
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会

(ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・日 時 平成 27 年 4 月 1 日(水)～平成 28 年 3 月 31 日(火)
- ・場 所 青山スクエア

(エ) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・日 時 平成 27 年 11 月 5 日(木)～8 日(日)
- ・場 所 富山県高岡市内

オ 越中おもてなし工芸品展開実行委員会

消費者・小売店等のニーズ調査を実施し、調査内容を反映した試作品開発に取り組んだ。開発した試作品は国内最大規模の見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー」に出展し、バイヤー等の意見聴取と広報に努めた。

「第 81 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2016」

- ・日 時 平成 28 年 2 月 3 日(水)～5 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 21 番地 1 号)
- ・出 展 数 14 社、327 点
- ・来場者数 全体で 194,764 人(会期中のお問い合わせ件数：115 件)

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

入居者が快適に利用できるよう適宜清掃や修繕を行い、施設の環境整備に努めた。

2 施設貸出事業

館内環境の整備につとめ、ホール・会議室とも一層の利用率向上に努めた。

3 一般品目販売事業

施設利用者の利便に供するような飲料品や観光土産品等公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の 1 割を目安に取り扱いを継続した。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ア ・第 7 回開催 平成 27 年 4 月 1 日（水）
 - ・主な審議内容 専務理事（業務執行理事）の選定（みなし決議）
- イ ・第 8 回開催 平成 27 年 5 月 18 日（月）
 - ・主な審議内容 平成 26 年度事業報告及び収支決算等
- ウ ・第 9 回開催 平成 27 年 6 月 1 日（月）
 - ・主な審議内容 理事長（代表理事）の選定（みなし決議）

副理事長（代表理事）の選定（みなし決議）
専務理事（常務執行理事）の選定（みなし決議）

- エ ・ 第 10 回開催 平成 28 年 3 月 28 日（月）
- ・ 主な審議内容 平成 28 年度事業計画(案)及び収支予算(案)等

(2) 評議員会

- ア ・ 第 1 回開催 平成 27 年 4 月 1 日（水）
- ・ 主な審議内容 監事及び理事の選任について（みなし決議）

- イ ・ 定時評議員会開催 平成 27 年 6 月 1 日（月）
- ・ 主な審議内容 平成 26 年度の決算書類の承認
評議員の選任及び役員改選について

- ウ ・ 第 2 回開催 平成 27 年 6 月 11 日（木）
- ・ 主な審議内容 評議員の選任について（みなし決議）

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換するとともに、協議会として地場産業の育成・振興に関する重要事項に関して、国等に対して陳情を行った。

- 総会 ・ 日時 平成 27 年 7 月 9 日(木)
- ・ 場所、主催 (公財)南薩地域地場産業振興センター